

本年度の学校評価

本年度の重点目標	『主体的に考え、自律的に行動する』生徒の育成 ～ 1年「広げる」 2年「深める」 3年「表す」 ～		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
総務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>充実した体験入学にする。</li> <li>円滑なPTA活動。</li> <li>式典の厳粛な進行。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年生にも参加してもらい人数を増やし内容の充実を図る。快適な空間で中学生・保護者に参加してもらおう。</li> <li>意見交換を盛んにし、保護者のニーズにこたえられるようにする。</li> <li>式典の意味を考えさせ自ら行動できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生の「学習する姿勢に感動した」、「部活動において生徒主体でやっていてすごい」という感想をもとに、生徒主体の体験入学を実現したい。生徒の考えを尊重し行っていきたい。</li> <li>各委員会の内容の充実を図りたい。委員の意見を聞き、改善を図る。</li> <li>本校の式典における生徒の参加姿勢はとても良いものであった。コロナウィルスの影響で3学年集合しての式典が行えておらず、行えた時には以前以上に厳粛な進行ができるよう努力したい。</li> </ul>
教務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の学力向上と学習習慣の定着を図る。</li> <li>総合的な探究の時間を効果的に実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年で学習時間調査を実施し生徒にフィードバックする。</li> <li>ICT機器を授業や教育活動に取り入れ、効果的な指導方法を探る。</li> <li>学年と連携し、本校生徒の自主性を高められるような指導を実施していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年と連携し、現状の学習状況や今後の課題などを生徒にフィードバックしていきたい。</li> <li>本年度より試験的にスマートフォンやタブレットを用いた授業を実施する。その研究を元に来年度全生徒にタブレットを購入するか検討していきたい。</li> <li>総合的な探究の時間を通じて、生徒の主体性を尊重し、自主的に考え行動できるようなプログラムを検討し、教員全体で働きかけを行う。</li> </ul>
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の交通マナーを向上させ、交通事故件数を減少させる。</li> <li>生徒自ら規律を守り、自立することができる生徒を育てる。</li> <li>情報モラルの向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自らの命を守るための啓発活動、日頃の立ち番指導を全職員で実施する。</li> <li>日常指導の場面で、自ら考え行動する意識の向上を図る。</li> <li>情報モラル講話を行い、携帯機器との関わり方を考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通事故の件数は減少しているのですが、日頃の交通マナー指導の成果と考えられる。これからも継続していきたい。</li> <li>自ら考えさせる場面を設定したところ、大多数の生徒は自覚ある行動をとることができた。校外での行動については改善の必要がある。</li> <li>機器の使い方を誤り、モラルに反する行為をする者がいたのは残念だった。学校だけでなく、家庭の協力が不可欠である。</li> </ul>
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒にとって有意義かつ信頼される進路指導を行う。</li> <li>新課程入試への対応を考える。</li> <li>進路実現に向け、計画的かつ個々に合わせた学習指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路だより等を用いて情報を積極的に発信する。</li> <li>教員同士で進路指導の方法を共有し、各学年全体で指導にあたる。</li> <li>補習や模擬試験のよりよい活用方法や進め方を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路だよりでは、卒業生の書いた受験レポートなどを有効に活用する。</li> <li>新しい情報を見逃さず、該当学年団と共有する。</li> <li>補習において、受講するクラスのレベル分けや問題の精選を行う。</li> </ul>
保健部	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災教育を通じ、自分を自分で守る意識、行動を身に付けさせる。</li> <li>落ち着いた学習環境を維持し、より清潔な環境を目指して改善を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練を年に2回に増やし、より発展的な訓練を実施する。</li> <li>清掃点検を実施し、清掃が不十分な場所に改善を求める。安全点検を通じて、修繕の必要場所を速やかに発見する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度に引き続き、2回の防災訓練を実施する。訓練形式を変えて実施するとともに、防災に関する知識を学ぶために、資料を作成して配布する。</li> <li>清掃点検を計画的に実施し、清掃が不十分な場所には速やかに連絡し、改善をお願いする。</li> <li>トイレ清掃を重点的に行う。</li> </ul>
教育情報部	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信の方法について研究する。</li> <li>図書館利用の啓発を努める。</li> <li>BYODを含め、ICT機器の活用法について研究する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページの改定後1年が経過し、よりスピーディーな情報発信を行うとともに、その内容についても検討する。</li> <li>図書館だより、読書会などの利用方法のさらなる検討を加えるとともに、それ以外の生徒に向けて様々なアプローチの方法を考える。</li> <li>一人一台パソコン時代における教育支援ソフトの利用法について研究する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Webページのアップロードがよりスピーディーに行えるように、作成方法やアップロードまでの過程の検討を加える。</li> <li>魅力的な図書館になるように、生徒が手に取りやすい本やよく読まれている本の傾向を分析し、より生徒のニーズに応じた蔵書にする。</li> <li>教育支援ソフトの一般的な使用方法だけではなく、様々な場面での活用法についても研究する。</li> </ul>
特別活動部	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会活動を活性化させる。</li> <li>学校全体が意欲にあふれるような、学校行事の運営を</li> <li>部活動の活性化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会執行部、各委員会を生徒主体で開催する。</li> <li>生徒が主体的に考え、実践できるように支援する。</li> <li>部活動への側面支援と指導を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒からの意見を募りやすい仕組みを構築し、生徒のやる気を出させる。</li> <li>どのようにすれば盛り上げることができるかを、生徒自身に筋道を立てて考えさせる。</li> <li>他の分掌とも連携し、安全で合理的な活動が行えるような仕組みを整える。</li> </ul>

<p>学校いじめ防止基本方針に基づく取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育の一環としていじめ防止のための取組を実施する。</li> <li>・いじめの未然防止と早期発見に係る取組を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権意識を高揚させるための講演等を実施する。</li> <li>・いじめアンケートや、教育相談委員会を通じ、生徒の様子や様々な状況の正確な把握に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒に対するアンケート調査を含め、生徒が相談しやすい雰囲気作りに留意するとともに、スクールカウンセラーとの連絡を密にする。</li> <li>・教育相談委員会を定期的に開催し、日常生活に「困り」を感じている生徒を早期に把握し、対応する。</li> </ul>
<p>勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務内容を精選し、日常業務の効率化を図る。</li> <li>・計画的な業務遂行・進行管理を適切に行い、特定期間の業務延長を防ぐ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内の様々な役割分担について連携を取り合う体制づくりを目指す。</li> <li>・様々な業務を、個人でなく組織で対応できるシステム作り。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育目標を再確認し、目標に向かって各学年・教科・分掌が有機的に連携して業務を行っていく。</li> <li>・業務の再配分を行い、一部に負担がかからないよう留意する。</li> </ul>
<p>総合評価</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導、進学指導充実への取組</li> <li>・学校行事、部活動の充実への取組</li> <li>・本校のスクールポリシーについて</li> </ul>	

昨年度の学校評価

本年度の重点目標	『主体的に考え、自律的に行動する』生徒の育成 ～ 1年「広げる」 2年「深める」 3年「表す」 ～		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
総務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>充実した体験入学にする。</li> <li>円滑なPTA活動。</li> <li>式典の厳粛な進行。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年生にも参加してもらい人数を増やし内容の充実を図る。快適な空間で中学生・保護者に参加してもらおう。</li> <li>意見交換を盛んにし、保護者のニーズにこたえられるようにする。</li> <li>式典の意味を考えさせ自ら行動できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナウイルス感染拡大のため、係生徒の人数を制限し行ったため目標を達成できなかった。教員中心の会となったが、本年度の良いところは来年度につなげていきたい。</li> <li>積極的な方が多く、それぞれの委員会で工夫ができた。保護者全体にアンケートを実施することができたので、今後意見を参考にしながら活動していきたい。</li> <li>入学式、卒業式のみ行うことができた。全校生徒が一堂に会することがなかったので、来年度、岡西の良さをどう伝えていくか工夫が必要になる。</li> </ul>
教務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の学力向上と学習習慣の定着を図る。</li> <li>総合的な探究(学習)の時間を効果的に実施する。</li> <li>令和4年度新教育課程を編成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年で学習時間調査を実施し生徒にフィードバックする。</li> <li>学年と連携し、本校生徒の自主性を高められるような指導を実施していく。</li> <li>新学習指導要領に沿った教育課程編成に向け、情報を共有・発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>例年と同様に1学期と2学期に学習時間調査を各学年で実施し、保護者会や学年別懇談会を通して学習状況を伝えることができた、時間を意識させるだけではなく、自主的に勉強できるような働きかけを行っていきたい。</li> <li>新型コロナウイルスの影響により、総合的な学習の時間においては、行事検討を余儀なくされたが、各学年で代替案を実施し、概ね目標は達成できた。</li> <li>令和4年度以降の本校の目指す生徒像をもとに、教育課程を編成した。新入試に対応するだけでなく主体的に活動する生徒の育成を目指したい。</li> </ul>
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の交通マナーを向上させ、交通事故件数を減少させる。</li> <li>生徒自ら規律を守り、自立することができる生徒を育てる。</li> <li>情報モラルの向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自らの命を守るための啓発活動、日頃の立ち番指導を全職員で実施する。</li> <li>日常指導の場面で、自ら考え行動する意識の向上を図る。</li> <li>情報モラル講話を行い、携帯機器との関わり方を考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通事故の件数は減少している一方で、日頃の交通マナー指導の成果と考えられる。これからも継続していきたい。</li> <li>自ら考えさせる場面を設定したところ、大多数の生徒は自覚ある行動をとることができた。校外での行動については改善の必要がある。</li> <li>道具の使い方を誤り、モラルに反する行為をする者が後を絶たない。学校での指導には限界がある。家庭の協力が不可欠である。</li> </ul>
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒にとって有意義かつ信頼される進路指導を行う。</li> <li>新課程入試への対応を考える。</li> <li>進路実現に向け、計画的な学習指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路だより等を用いて情報を積極的に発信する。</li> <li>教員同士で進路指導の方法を共有し、各学年全体で指導にあたる。</li> <li>補習や模擬試験のよりよい活用の方や進め方を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年生は、毎月進路だよりを発行し、受験期の生徒の心のケアに努め、大学の情報や心構えを定期的に伝えることができた。大学からのリーフレットやポスターを工夫して掲示した。</li> <li>進路指導部では、しっかりと話し合いを行い、考え方を共有することができた。仕事を分担し、責任をもって積極的に活動することができるように</li> <li>生徒が進んで学ぼうと思えるような補習にするために、同一教科の中で学ぶ分野を選択させたり、個々の学力に応じて、特定の教科に重点を置くコースを選べるような取り組みを行った。成果と問題点をしっかりと考察し、次年度につなげていき</li> </ul>
保健部	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災教育を通じ、自分を自分で守る意識、行動を身に付けさせる。</li> <li>落ち着いた学習環境を維持し、より清潔な環境を目指して改善を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練を年に2回に増やし、より発展的な訓練を実施する。</li> <li>清掃点検を実施し、清掃が不十分な場所に改善を求め。安全点検を通じて、修繕が必要な場所を速やかに発見する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスによる休校のため、計画した1回目の訓練が実施できなかった。終息を期待して来年度も、2回実施の計画を立てる。</li> <li>清掃点検を計画的に実施し、清掃が不十分な場所には速やかに連絡し、改善をお願いした。清潔な学習環境を保つことができた。</li> <li>安全点検や口頭で、修繕が必要な場所が保健部に連絡されるとすぐに事務室と相談をし、対応するようにした。</li> </ul>
教育情報部	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信の方法について研究する。</li> <li>図書館利用の啓発を努める。</li> <li>BYODを含め、ICT機器の活用法について研究する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページの見直しを行い、より有効な情報発信を行うとともに、ホームページ以外の方法との連携を考える。</li> <li>図書館だよりなどの利用方法を見直し、生徒に向けて様々なアプローチを考える。</li> <li>一人一台パソコンに向けての情報収集および検討を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は、ホームページを全面的に見直し、大幅な改定を行った。また、ホームページを利用した教材提供など新たな試みも行った。</li> <li>図書館だよりについては、図書委員に作成させていて、その他の生徒により身近なものにしていった。</li> <li>BYODに即応したICT環境および教育支援ソフトなどの活用法などの効果的な使用方法などの研究をおこなった。</li> </ul>

特別活動部	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会活動を活発化する。</li> <li>学校全体が意欲に溢れる学校行事にする。</li> <li>部活動の合理的な活性化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会執行部、各委員会を生徒主体で開催する。</li> <li>生徒が主体的に考えて取り組む雰囲気を作る。</li> <li>部活動への側面支援と指導を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会役員から多くの提案が出され、実施に向けて検討を行うことができた。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の中、できる範囲で熱心に取り組むことができた。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大による活動制限の中でも、良い結果が出た。</li> </ul>
学校いじめ防止基本方針に基づく取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめの未然防止と早期発見に係る取組を充実させる。</li> <li>いじめ対策の具体的事例について研究する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめアンケートや、教育相談委員会を通じ、状況の正確な把握を図る。</li> <li>研修を通じ、いじめに対する職員の共通認識を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめに関する現職研修を行い、色々な視点で生徒を観察する大切さをあらためて周知した。</li> <li>生徒へのアンケートについては、気になる内容があれば迅速に対応することができた。</li> </ul>
勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事、業務内容の見直しにより業務内容の適正化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動指導など、教員の意識改革を進める。</li> <li>在校時間等の状況記録を活用し、教職員の時間外労働を把握し、適宜業務内容の見直しを行い、健康障害防止に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響で4・5月が休業となり、授業数確保のため夏季休業を短縮せざるを得なかった。この期間は、生徒だけで無く教員においても熱中症対策を指示するなどの対応をした。</li> <li>毎日の業務終了時刻は、ほぼ全員の先生が守っている状態になった。</li> </ul>
学校関係評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導、進学指導の状況について。</li> <li>学校行事、部活動の状況について。</li> </ul>	

イ 学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施した主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導、進学指導充実への取組</li> <li>学校行事、部活動の充実への取組</li> <li>交通安全を含めた生徒の安全意識の高揚への取組</li> <li>新型コロナウイルス感染症対策</li> </ul>
自己評価結果について	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症による休業を踏まえ「自主的に学習できる」環境づくりや「総合的な探究の時間」の新たな取り組みを始めることができた。</li> <li>中止もしくは縮小せざるを得なかった学校行事もあったが、生徒は感染症対策を取りながらも充実した取組を行った。</li> <li>交通事故は減少したが、交通マナーを含め、社会人としてのマナー指導は今後も必要である。</li> </ul>
今後の改善策方策について	<ul style="list-style-type: none"> <li>BYODの利用を含めた新しい授業の在り方の研究</li> <li>生徒が自主的に活動する環境づくり</li> <li>あらためて感染症対策への意識付けを行い、予防措置を継続する。</li> </ul>
その他(学校関係者評価委員から出された主な意見、要望)	<ul style="list-style-type: none"> <li>休業による学力の低下を心配している。授業時間の回復措置・課題の精選などによりなどにより対応していただいているようだが、今後も継続していただきたい。</li> <li>岡崎西高校の普通科高校としての「ポリシー」を示していただきたい。</li> </ul>
学校関係者評価委員会の構成及び評価時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成…学校評議員4名(保護者代表1名を含む)</li> <li>評価時期…2月上旬</li> </ul>

(5) 経営管理上の問題点

ア 岡崎市内では最も新しい県立高校だが、施設の老朽化が進んでおり、危険と思われる箇所もあり、校内施設の安全点検と対策を充実させることが必要である。

イ 令和4年度からの新学習指導要領の実施に向け、授業改善・評価方法の研究が急務である。